

平戸市施行20周年記念事業 平戸くんち城下つんのーで祭

問 平戸商工会議所 ☎22-3131

と き 10月25日(土)・26日(日) 午前11時～午後5時

ところ 平戸城下旧町地区一帯(魚の棚町～浦の町)

※交通規制 午前10時～午後6時

内 容 平戸の秋の美味しいものが大集合!!平戸の食材を活かした一品料理、ひらど軽トラ市も同時開催。伝統芸能やちびっこ芸能、ダンスの披露などのステージイベントも開催します。



問 (一社) 平戸観光協会 ☎23-8600

平戸港花火大会

と き 10月25日(土) 午後5時～午後9時(午後8時～花火打上予定)

※荒天の場合は、26日(日)に延期

ところ 平戸港交流広場

※交通規制 午後7時50分～午後8時40分(旧エレナ前～崎方町交差点)

内 容 秋の夜空に、間近で打ち上がる花火を見ることができます。露店の出店もあります。



平戸市防災だより vol.4 災害への備え-台風-

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

9月初め、日本列島を襲った「台風15号」は、短時間に大雨をもたらす線状降水帯を各地で発生させて豪雨災害と突風被害をもたらしました。

予測のつかない「地震」と異なり、「台風」の接近は気象情報を確認することで、時間的な余裕をもって対策を立てられます。強風だけでなく、台風の周辺では線状降水帯が発生し、大雨での河川の氾濫や低地の浸水、山沿いの土砂崩れなどが発生しています。

○台風への備え

- ①窓や戸の補強、自宅周辺の植木鉢、物干し台・竿などが飛散しないようにロープかけや屋内への移動を明るいうちに済ませておく。
- ②高齢者や避難に時間を要する人、在宅避難が不安な人は「非常持出袋」(水・食料・毛布など)を持って指定の避難所に明るいうちに、早めに避難をする。

- ④懐中電灯・乾電池の準備、スマホを充電するなど「停電」への万全の対策を講じておく。
- ⑤水道水の汲み置きや、お風呂の残り湯を貯めておくなど「断水」への万全の対策を講じておく。



明日はもっと自由に。-あなたの声が社会を変える第一歩に-

問 企画課地域振興班 ☎22-9105

平戸市では、誰もが個々の価値観や希望に応じて、自分らしい人生を選べる「男女共同参画社会」の実現を目指しており、皆さんの意識や実態を把握するためのアンケートを1月末まで実施しています。アンケートの回答は、今後の施策に反映させるための重要な資料となりますのでご協力よろしくお願いします。

市民アンケート「男女共同参画についての意識調査」

○対象者 18歳以上の平戸市内在住者

○質問数 15項目

○回答時間 約6分

※このアンケートは、7月30日に平戸市公式LINEで実施した内容と同じものです。

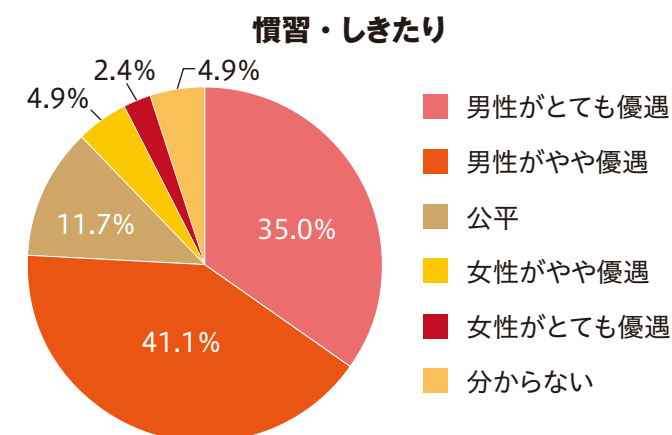
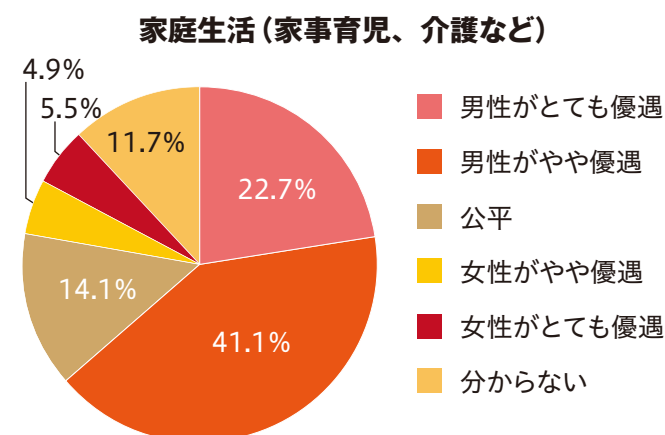


▲アンケートへの回答はこちら



アンケート(中間報告)

7月末から実施しているアンケートの回答状況を見ると、男女、年代、世帯構成、就業状況に関わらず、多くの分野で「男性が優遇されている」と感じている傾向がみられました。特に、「家庭生活(家事育児、介護など)」や「慣習・しきたり」は、改善が必要だという認識です。



男女共同参画ってどんなこと?

Q 男女共同参画は「女性のため」の取り組みですか?

A 男女共同参画はすべての人に関わる取り組みです。男性も女性も性別による固定的な役割に伴う生きづらさを感じていることがあります。家事や育児、介護を分担できる家庭環境づくりや、職場での多様な働き方の推進、地域での意思決定への参画など、身近な暮らしと深く関わっています。

男女共同参画は「誰もが性別に関わらず自分らしく生きられる社会」を目指すものです。

Q 「男らしさ」「女らしさ」って、悪いことなんですか?

A 個人の価値観として「らしさ」を大切にすることは問題ありませんが、性別による無意識の思い込みで役割やふるまいを決めることは、個人の選択肢を狭めたり、生きづらさにつながることがあります。まずは「性別による無意識の思い込み」に気づくことから始めてみましょう。他人の価値観を尊重する、家事や育児の分担を見直す、職場や地域での役割や発言機会を公平にするなど、小さな気づきや実践の積み重ねが、社会全体の意識を変える力になります。